



870-0016 大分市新川町2-1-36 大分合同庁舎2階  
大分労働基準監督署 安全衛生課 TEL097-535-1513

令和4年労働災害発生状況

《速報値》

業種	令和4年		令和3年		増減	
	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷
製造業	2	108	1	84	1	24
建設業	2	116	3	102	▲1	14
運輸交通業		72	1	70	▲1	2
農林業	1	25		12	1	13
他の産業		9	1	3	▲1	6
第三次産業		1430		498		932
商業		124		134		▲10
保健衛生		1064		187		877
接客娯楽		82		76		6
清掃と畜		66		42		24
全産業	5	1760	6	769	▲1	991

※ 上表の統計は、労働者死傷病報告により4/30現在と前年の労働災害の発生者数を比較集計したものの。  
※ 他の産業とは、鉱業・貨物取扱・畜産水産の合計。

令和4年 労働災害は増加

大分労働基準監督署管内における令和4年の労働災害は、4月30日現在で、職場での新型コロナウイルス感染者が拡大したこともあって前年比で+991人、2倍以上の増加となっています。死亡者数は前年比で1人減少の状況にありましたが、ここ1か月ほどの間に2件死亡災害が発生しました。今後、夏季においては、熱中症等を含め、労働災害が多発する傾向にあること等から、労働災害防止対策のより一層の徹底をお願いします。

令和5年 死亡災害が相次ぎ発生

- 3月** 生コンクリートの運搬に使用していた農業用小型運搬車の運転席に乗って川床を前進させていたところ運搬車と橋の側面との間に挟まれたもの。
- 4月** 業務用乾燥機を使用して作業していたところ、乾燥機の蓋と本体との間に挟まれたもの。

令和5年度「全国安全週間」を7月に実施

スローガン 準備期間：6月1日～30日 《本週間 7月1日～7月7日》

高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場



全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来「人命尊重」という基本理念の下、一度も中断することなく続けられ、今年で96回目を迎えます。この間、労使が協調して労働災害防止対策が展開され長期的には減少しているところですが、令和4年の休業4日以上死傷災害は前年を上回る見込みであり、近年増加傾向に歯止めがかからない状況です。各事業場におかれては、更なる労働災害の減少を図る観点から、労使で安全衛生活動を着実に進めていきましょう。

全国安全週間・労働行政説明会

別府会場	大分会場
6月14日(水) 14時～ (定員200名)	6月15日(木) 14時～ (定員500名)
ビーコンプラザ 中会議室 別府市山の手12番1号	オンライン開催
本年度は、『第14次労働災害防止計画』の概要について説明を行います。別府会場につきましては駐車場に限りがあり、有料となりますので、あらかじめご了承ください。	別府会場申込先  オンライン申込先



コロナで見直す安全対策の一助に！

大分署では、各事業場で実施しているSafe work OITAのロゴマークを活用した取組を推奨しています。

Safe work OITAは労働災害を防止し、安全安心な職場の実現を目指す意思を示すもので、workの「k」は安全確認のための指差呼称する人物を模したものとなっています。

ぜひ事業場でも安全意識の高場に取り入れてみませんか。活用方法等詳細は局HPまで。

厚生労働省 説明会受付 検索

労働保険年度更新

申告・納付は7月10日(月)までに！  
申告書の提出は大分労働局又は労働基準監督署へ

## 第14次労働災害防止計画の概要

令和5年度を初年度とする第14次労働災害防止計画（以下「14次防」という。）が策定されました。14次防は今後5年間にわたる労働災害防止対策を進めるため、国が中長期的に重点的に取り組むべき対策を示したものです。ここでは簡単に説明します。詳細は6月の安全週間説明会で行います。

### 計画の方向性

- 事業者の安全衛生対策の促進と社会的に評価される環境の整備を図っていきます。そのために、厳しい経営環境等さまざまな事情があったとしても、安全衛生対策に取り組むことが事業者の経営や人材確保・育成の観点からもプラスであると考えます。
- 転倒等の個別の安全衛生の課題に取り組んでまいります。
- 誠実に安全衛生に取り組まず、労働災害の発生を繰り返す事業者に対しては厳正に対処します。

### 計画の目標

- 重点事項における取組の進捗状況を確認する指標（アウトプット指標）を設定しアウトカム指標（達成目標）を定めます。

#### 主なアウトプット指標【指標】

- 労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進
  - ・転倒災害対策に取り組む事業場の割合を50%以上にする。等
- 高齢労働者の労働災害防止対策の推進
  - ・エイジフレンドリーガイドライン（高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）に基づく取組を実施する事業場の割合を50%以上とする。
- 労働者の健康確保対策の推進
  - ・メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合を令和9年までに80%以上とする。

#### 主なアウトカム指標【達成目標】

- 転倒の年齢層別死傷者数を令和4年と比較して令和9年までに男女とも減少させる。
- 60歳代以上の死傷者数を令和4年と比較して令和9年までに男女とも減少させる。
- 仕事等に関する強い不安、ストレス等がある労働者の割合を50%未満とする。



### 取組の成果として

死亡災害は10%減少、死傷災害は令和4年と比較し減少させる。

## STOP! クールワーク キャンペーン

毎年、本格的な暑さを迎える前から熱中症による死亡災害が発生しています。残念ながら管内でも昨年発生しました。暑くなる前に下記の熱中症予防対策を始めましょう。厚生労働省ではポータルサイトを開設して無料動画提供していますので研修材料としてご活用下さい。

- ◎WBGT値（暑さ指数）の把握の準備
- ◎休憩場所や冷房設備の確保
- ◎透湿性・通気性の良い服装や帽子の着用
- ◎熱中症予防研修の実施
- ◎熱への順化期間の設定



職場における熱中症予防情報

検索

## STOP! 転倒災害プロジェクト

職場から転倒災害をなくしましょう！  
～2月・6月は重点取組期間です～

6月は転倒災害プロジェクト重点取組期間です。管内では転倒災害が多く発生しています。発生原因は足元に物が置かれていたり、床面が滑りやすくなっていたり足の踏ん張りがきかなかったりと様々。全国安全週間準備月間の6月に職場内をパトロールして危険を「見える化」してみませんか。

【編集後記】  
管内で死亡労働災害が発生した翌日、護国神社に参拝し「安全の鐘」を鳴らした。鐘の下に鎮座している「平らぎの石」を拝み手を合わせた。労働災害防止計画「第14次防」も策定、新たなアプローチも始まっている。災害ゼロは難しいが、少なくするための取組を広げることは可能。安全・安心な職場を増やし、地域へ貢献したい。